

社会福祉法人 南山城学園

2026年度

新卒採用のご案内

人に向きあうって、
おもしろい。





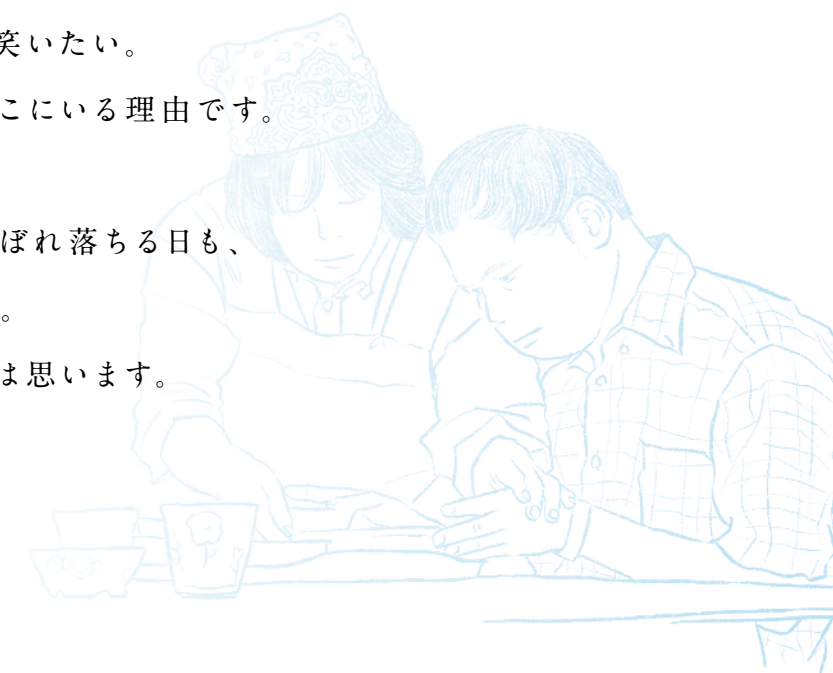
人に向きあうって、
ときに、くるしい。

どんなに社会が変わっても。
どんなに福祉が変わっても。
ずっと変わらず、私たちのなかにあったもの。
それは、人に向きあい、よりそうことでした。

目の前の人の息づかいを感じながら、
言葉にならない思いをくみながら。
違いを受けとめ、今日をいっしょに笑いたい。
そのささやかな願いが、私たちがここにいる理由です。

飛び跳ねるほど嬉しい日も、涙がこぼれ落ちる日も、
悔しさにうちのめされる日もあります。
いろんなことがあるたびに、私たちは思います。

人に向きあうって、おもしろい？
人に向きあうって、なんだろう。



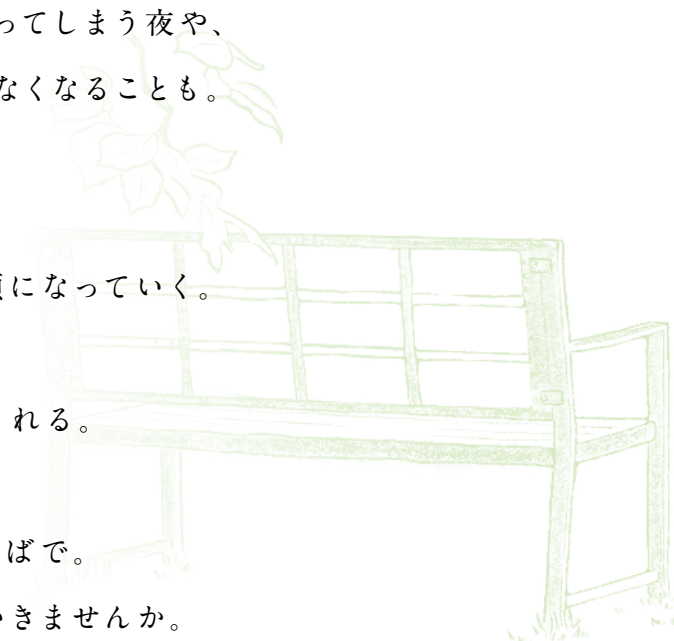
いっしょに 幸せをつくっていく。

私たちの日々の支援の積み重ねは、
一人ひとりの表情を、
やさしく、つよく、しなやかにしているだろうか。
そのまなざしは、利用者様を安心させているだろうか。

手をたたいて仲間と喜びあい、
ときには自分をほめたいこともある。
だけど、考えては壁にぶつかり、立ち止まってしまう夜や、
答えが見えないもどかしさに、自分が情けなくなることも。

でも、私たちは信じています。
人に向きあい、悩んだぶんだけ、いい笑顔になっていく。
そして、その笑顔は、
やっぱり私たちの誇りなんだと気づかせてくれる。

今日の笑顔を携えて、利用者様のいつもそばで。
目の前の人の幸せを、いっしょにつくっていきませんか。



向きあい、よりそい、

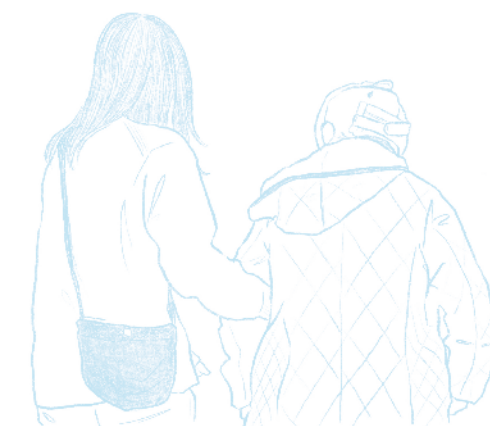
利用者様の暮らしをよりよくすること。

それが、南山城学園の日々です。





「おはよう」。
そのひとことから、
利用者様の小さな変化に
気づくことも。



目の前の人の幸せをつくる。
でもどうすれば
目の前の人を理解できるんだろう。



人に向きあうことは、
自分にも向きあうこと？
生きかた、考えかたのヒントは、
なにげない日々のいたるところに。



名前を呼んでもらうことが、
こんなに嬉しいことだなんて。



Interview

南山城学園で働く人にお話を聞きました。



夢に出るほど考えて、
目の前の人を
わかろうとする。

森田 千尋 Chihiro Morita

2020年入職
人間福祉学部 社会福祉学科 卒業
職種：生活支援員(障害者支援施設 魁)



考える。考える。考える。
やっと支援が生まれる。

障害者支援施設「魁」で生活支援員をしています。起床、食事、整容、入浴、就寝、余暇など、利用者さんが朝起きてから夜寝るまでと、寝てからも。お一人おひとりの必要に応じて支援を入れていきます。**支援の内容は人それぞれ。ひとつの答えや正解なんてありません。**

たとえば、私が担当している利用者さんは、着替えがなかなかできませんでした。どうして着替えができないのかと、いろんなトライ＆エラーを繰り返し、**やっとたどりついたのが「ほかの服に着替えたくないんじゃないか」ということ。**さっそくおなじ種類、おなじサイズ、おなじ色の服を3枚ほど購入し、「おなじ服に着替えましょう!」とやってみたところ、着替えるようになってくれたんです。今ではちがう服にも着替えられるようになり、次は「お洒落を楽しみましょう」という段階にきています。**これまでできなかったことが、支援を通してできるようになる。その姿をみられたときの感動は、何にも代えがたいものがありますね。**夜勤明けのまわらない頭でも、いろんな人に相談しながらでも、夢に出てくるくらい考えて、周知して、実践して、振り返って、それを何度も繰り返して。そういった日々の取り組みが実ったんだと、実感できる瞬間です。

森田ですけど、
“カシワギさん”と呼ばれてうれしい。

私のことを「カシワギさん」と呼ぶ利用者さんがいます。私の名前ではないんですが、呼んでいただくと関係性を築くことができたのかと嬉しくなります。利用者さんの世界観を尊重するという意味で、「カシワギさん」と呼ばれたらお応えするようにも。なぜ、「カシワギさん」なのか。きっと理由があると思うんです。

私が働く魁は、精神障害の人も多く「どうしてその行動に出たんだろう?」ということがたくさんあります。今まで自分が勉強してきた社会福祉士の知識だけでは、とうてい太刀打ちできません。そんな思いから、精神保健福祉士の資格取得をめざしています。資格の取得はまだですが、勉強するなかでたしかな手応えも。たとえば、利用者さんから「お父さんが殺されたってニュースでやったの」という発言があっても、統合失調症なのでそういった妄想があるのかなと推測できたり、焦ることなく対応できたりしています。**科学的根拠から利用者さんを知ることで、より本質的な支援ができること。**なにより、利用者さんと、よりよい関係が築けることに期待しています。



障害の有無に関係なく、
心は通いあうのかも。

私にとって「人に向きあう」こととは、その人を理解しようとすることです。目の前の人を理解できたかもしれない。そう思えるのは、人に向きあっている証のような気がします。支援の現場においては、なにも**一人だけで利用者さんに向きあう必要はない**と思っています。なぜなら、その人の望む幸せな生活が、めざすべきゴールだからです。職員間での会議やご家族の視点など、みんなで向きあうことが大切です。障害の有無や程度に関わらず、どんな人であっても心が通う瞬間があるように思えます。

その人が笑顔になったとき、手を握ってくださったとき、大きく頷いてくださったとき、私のことを信用してくださっていると感じたとき…。ゼロから関係性を築いていくなかで、その人に向きあうことで心が通い、わかりあえたと感じたときに**「人に向きあうおもしろさ」を感じます。**



▶ 支援の取り組み方についてはP22をご覧ください

現場経験でみてきた。 違いを楽しめる 地域づくりの大切さ。

石原 和弥 Kazuya Ishihara

2021年入職
政策学部 政策学科 卒業
職種：生活支援員（地域福祉支援センター宇治小倉）



地域で暮らす人の 役に立つ仕事がしたい。

大学時代は、地域の高齢者向けサロンの運営や、地域ムービー撮影を通じた地域活性化など、フィールドワークを通じて、地域を元気にしていく研究をしていました。卒業後も、地域をよりよくしていくことや、そこに住む人の役に立つ仕事がしたいと考え、ゼミの先生に紹介してもらったのが、地域に根ざした取り組みを盛んに行っている南山城学園でした。

地域で暮らす障害者や高齢者がどんな生きづらさを抱えているのかを、自分の目で見て知ることができる現場だと感じ「ここで働きたい!」と思いました。そういえば介護職員の母と看護師の姉が、よく楽しそうに仕事の話をしていたんですね。自分にとって福祉は、実は身近な存在だったんです。



利用者さんと地域をつなぐ。

僕が働く地域福祉支援センター宇治小倉では、利用者さんの自立と社会参加をめざして、複合的なサービスを行っています。ここでの僕の主な担当は、グループホームと就労支援です。グループホームでは、利用者さんのお金の管理や作業先との連絡・調整などのサポートを、就労支援では、就労継続支援A型と就労移行支援を利用されている方のサポートを行っています。**わかりやすくいうと“利用者さんと地域をつなぐ役割”**です。

ハローワークなどと連携をとりながら利用者さんの就職活動をサポートし、晴れて一般就労ができたときは、自分のことのように嬉しくなりますね。利用者さんの自己実現に関われるのは、大きなやりがいとともに、責任も重大です。だからこそ、**より多くの職員の意見を聞き、より多くの視点で支援の方向性を決めるよう心がけています。**

けれど、地域で働く利用者さんを、 僕らは見るができない。

就労移行先企業の役員や人事の方とやりとりするなかで、つくづく思うんです。利用者さんの魅力をそのままに、自分らしく働いてほしい。**どうか利用者さんの個性を受け入れてくれる職場であってほしい、と。**就労移行支援の利用は、原則2年という期間が定められていて、僕が関われるのは、その期間だけです。多くの利用者さんを地域に見送るなかで、利用者さん一人ひとりが気持ちよく暮らしていける環境づくりにも目を向けていきたいと考えようになりました。

職場やご近所さんの継続的な理解をどうつづいていくのか。**ライフステージとともに出てくる困りごとにどう対応するのか。そういった仕組みやサービスを生みだせる職員になりたいです。**そのためにも、今はしっかり現場経験を積み、課題を肌で感じて、自分に何ができるのか突き詰めていきたいですね。

〔 ▶ 地域とのつながりについてはP23をご覧ください 〕



凸凹を肯定し、利用者さんの魅力を、 地域の人々に伝えたい。

違いを楽しむこと。それが、人に向きあうおもしろさだと思います。利用者さんに対する支援においても、こちらの思いが届かないこともたくさんあります。でも、そういったことに一喜一憂するのではなく、それもその人の「個性」ととらえること。できることがあれば、できないこともある。**苦手なことでも得意なことひっくるめて、いろんな凸凹を肯定するんです。**

そうするようになってから、僕は「人に向きあうこと」がうんと楽しくなりました。みんな違うんだという共通認識のうえで、みんながあたりまえに暮らしていける地域や社会を考えていくことが大切ですし、それこそが僕がこれから取り組んでいきたいことでもあります。





伝えようとする人の、 ほんとうの気持ちに よりそえる人へ。

今後 芙泉 Fumi Imago

2022年入職
家政学部 生活福祉学科 卒業
職種：生活支援員（障害者支援施設 魁）



なにげない会話の、ちいさな感動。

障害福祉での生活支援員の主な仕事は、利用者さんの日常生活全般をサポートすることです。食事や入浴の介助もそうですが、悩みごとがあれば話を聞いていっしょに悩んだり、天気の良い日にはいっしょにお散歩をしたり。室内でみんなでゲームをする日もあれば、日帰り旅行をする日もあります。雇用契約をしている地域の企業へ働きに出る利用者さんもおられます。**そんな一日いちにちを安心して過ごすために必要なすべてのことが、生活支援員の役割**だと考えています。

「髪切った?」「元気なの?」「誕生日おめでとう」。暮らしをともにするなかで、利用者さんはいろいろな話をしてくれます。なんでもない日常会話ですが、私の些細な変化にも気づいてくださることが、日々のちいさな感動です。職員が利用者さんをみているように、利用者さんも職員をみているんだなあと。

くみとれる人に、なりたくて。

障害福祉で働きたいと思ったのは、大学の実習で、利用者さんとやりとりをする職員さんの姿に憧れて。ある日、利用者さんが「かえる」と話されたとき、職員さんが「かえる」の一言について、蛙? 帰る? 変える? など、いろいろな意味の「かえる」について考え、利用者さんが何を伝えようとしているのかを、真剣に考えている姿に感銘を受けました。結局は「緑色(蛙色)のコップでお茶を飲みたかった」ということだったのですが、ご本人が伝えようとする姿と、それをくみとろうとする職員さんの姿。状況やおかれた環境によってその言葉の奥まで感じとることがとても興味深く、私も利用者さんの気持ちをくみとれる人になりたい!と思うようになりました。

入職してから毎日、利用者さん一人ひとりと挨拶することに決めています。「おはよう」というワンフレーズの言葉からも、利用者さんのちいさな変化やメッセージをくみとれるよう心がけています。



支援の時期を早めたら、 今より生きやすかったということ?

現在、**スーパーローテーション**という、1年ごとに施設を異動する制度でさまざまな経験を積ませていただいています。**青年期、高齢期の障害福祉の経験を通じて、ゆくゆくは障害児支援の道を極めたいと考えるようになりました。**たとえば、青年期以降の利用者さんによくみられるのが、何かがほしいときに、そのことをうまく伝えられなくて、物を壊したり奪い取ったりして表現をすること。これらの行動は、過去に「ほしいものをうまく手に入れられなかった」という苦い思い出が背景となっていることが多いんです。だとするならば、児童の頃から「こうすれば、ほしいものが手に入る」という方法を伝える支援ができれば、後々の人生がもっと生きやすくなるんじゃないかと。そういうところにアプローチしていきたくて、まずは保育士資格を取得したく、勉強しているところです。

あたりまえなんてない。 だから、人っておもしろい。

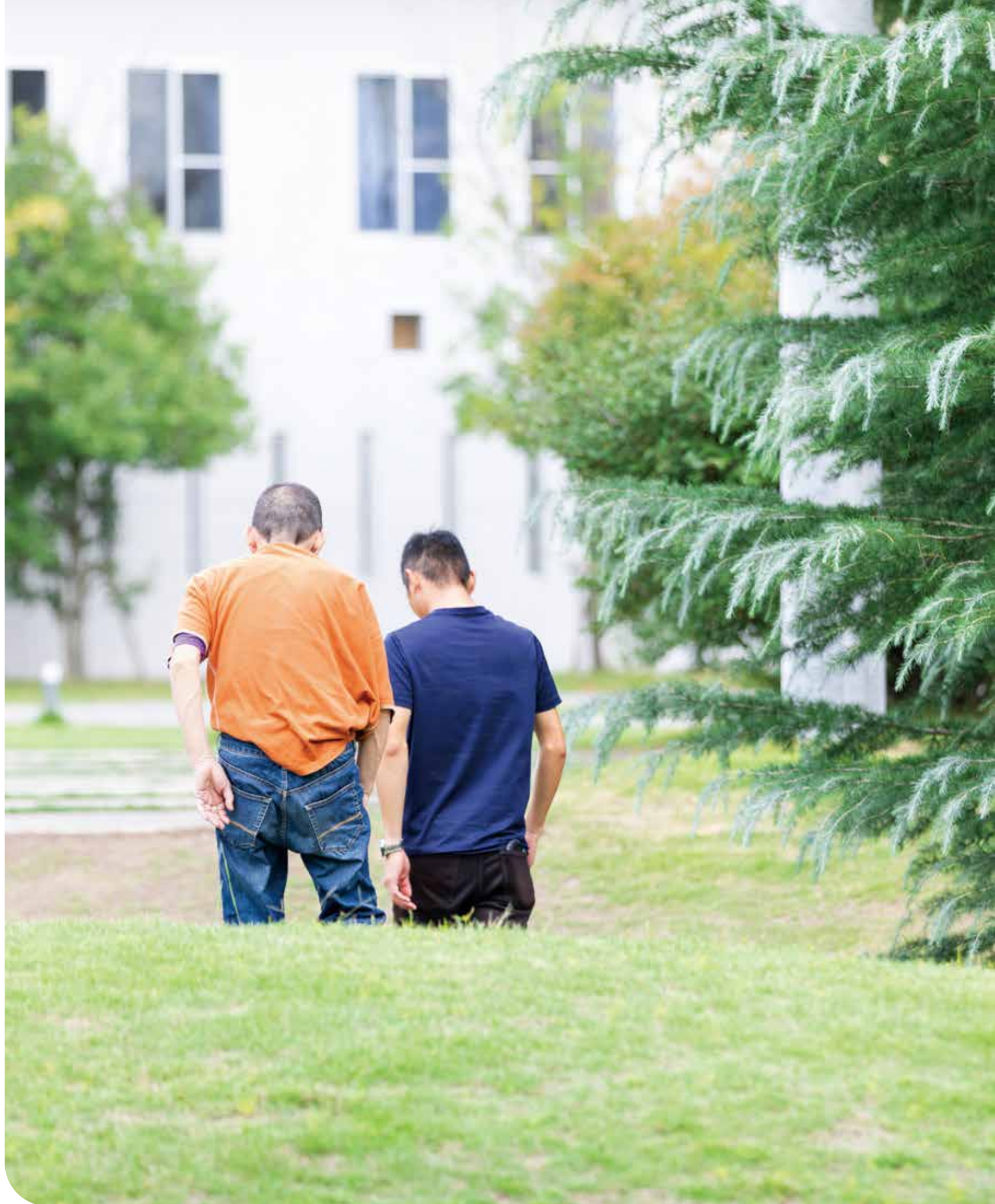
利用者さんとお話していると、自分になかったものの見方や感じ方に気づかされることがたくさんあります。利用者さんに限らず、自分にはないものや、相手と違うことを知る。それが、人に向きあうおもしろさじゃないかと思います。

だから私は、“あたりまえが、あたりまえにならない職員”でありたい。この人はこうだからと、あたりまえの認識をもちすぎると、いつか大事なことを見逃す気がするからです。たとえ同じ言葉でも、行動でも、いつも通りなんてないという姿勢で、誠実に人に向きあうこと。悩みながら、たのしみながら、そういうスキルを、これからもっと身につけていきたいです。



【 ▶ スーパーローテーション制度についてはP28をご覧ください 】

目の前の人の未来をつくりたい。
その実現のために、
さまざまな活動に取り組んでいます。

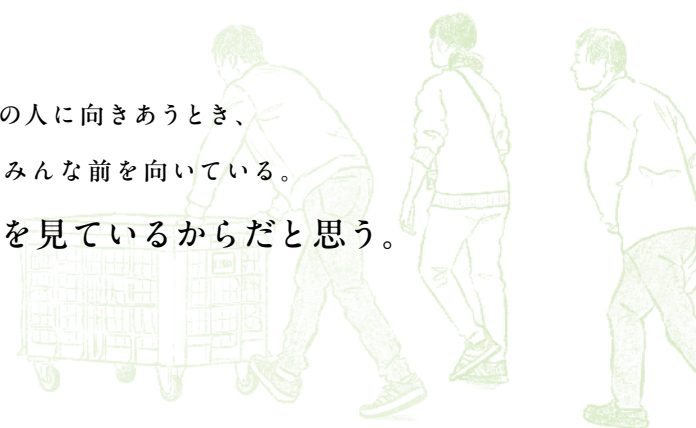




支えあいも、助けあいも、
まずはつながりづくりから。
関わりしろを増やすことも、
私たちの大事な仕事。



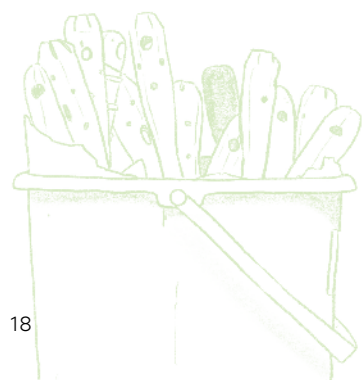
ひとりの人に向きあうとき、
誰もがみんな前を向いている。
未来を見ているからだと思う。



いちばん大切にしたいのは、
利用者様の「こうしたい」。
ときには支援しないことも、
利用者様の大きな一歩に。



人も福祉も変わりつづける。
だから今日も
学びつづける。



私たちの事業領域と思い描く未来像

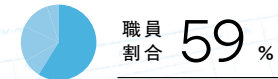
area
01

居住支援事業



自分らしく幸せに暮らせるよう、生活全般をサポート。

障害者支援施設やグループホームなどで、それぞれの利用者様に必要な支援を提供しています。



施設一覧

- 障害者支援施設 円(まどか)
- 障害者支援施設 紡(つむぎ)
- 障害者支援施設 和(なごみ)
- 障害者支援施設 魁(さきがけ)
- 障害者支援施設 翼(つばさ)
- 障害者支援施設 凜(りん)
- 障害者支援施設 光(ひかり)
- 障害者支援施設 輝(かがやき)
- 知的障害者グループホーム (城陽エリア 3ホーム・宇治エリア 1ホーム)
- 介護老人保健施設 煌(きらめき)
- ショートステイ ふらっぶ

area
02

相談支援事業

住み慣れた地域での暮らしを、続けられるよう相談によりサポート。

あらゆる相談ごとに対して関係機関と連携を図り、利用者様をさまざまな角度からサポートします。



施設一覧

- 山城北圏域障害者総合相談支援センター ういる
- 障害児(者)地域療育支援センター ういる
- 障害者生活支援センター はーもにい
- 障害者就業・生活支援センター はびねす
- 障害児(者)相談支援センター リーふ
- 障害者支援センター じゃすと
- 居宅介護支援事業所 すまいる
- 京都府地域生活定着支援センター ふいっと
- 若年者等就労支援拠点 サザン京都
- 障害児(者)相談支援センター ういっしゅ



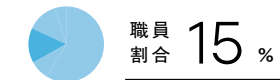
Person Centered Welfare

人に向きあい
人が人を支える
福祉のある社会



多様なニーズを受けとめ、充実した日中活動の場を提供。

障害のある方や高齢の方が、地域のなかで経済的にも心身的にも充実した日々を送れるようお手伝いします。



施設一覧

- 知的障害者デイサービスセンター あっぷ
- 身体障害者デイサービスセンター すいんぐ
- 就労移行・就労継続支援A型事業所 さびゆいえ
- 障害者デイサービスセンター わこう
- 児童日中一時支援事業所 ちえりー
- 高齢者デイサービスセンター すまいる
- 通所リハビリテーション 煌(きらめき)
- 認定生活困窮者就労訓練事業所
- デイセンター ふらっぶ

area
03

通所支援事業

area
04

子育て支援事業



子どもの心が動く瞬間を大切にしながら、主体性を育む保育、療育、教育。

子育てをともに考え、ともに成長をわかちあいます。子どもたちの自主性を尊び、主体性を育んでいきます。



施設一覧

- もりの詩保育園
- そらの詩保育園[小規模保育園]
- るりの詩保育園[小規模保育園]
- 企業主導型保育 すずの詩
- 認定こども園 ゆいの詩
- こども発達支援 Cocoro 島本

area
05

医療・健康管理



医療と福祉の連携により、安心・安全をサポート。

城陽と醍醐に診療所2ヶ所を開設し、施設利用者様の健康管理のほか、地域医療にも貢献しています。





Support Initiatives

支援の取り組み方

目の前の人の想いをくみとり、できることをいっしょに増やしていく。
科学的根拠にもとづく支援の追及と、他法人と連携した支援の質向上に取り組みます。



研究

科学的根拠にもとづき、
より質の高い支援をめざします。

利用者様お一人おひとりの特性を理解するための検査を用いて、科学的根拠にもとづいた支援を実践します。現場の職員全員が検査を実施できるよう、マニュアルも整備されています。また、産官学と連携し共同研究・発信を行い、新たな担い手の育成に注力。他法人と連携しながら、高齢知的障害者支援に関する共同研究にも参画しています。

支援の標準化

法人内で支援を共有し、
柔軟な標準化をはかります。

強度行動障害支援者養成研修のフォローアップの一環として、「PECSレベル1ワークショップ」を開催。法人内7事業所においてPECSを支援に取り入れており、事業所間のスムーズな連携により利用者様への統一した支援につなげています。また、ICTの活用により、効率化とマルチスキル化がはかれ、利用者様に寄り添うゆとりを職員にもたらしています。

VOICE

総合職 | 15年目
M.H.さん

「こうすればよくなる」という“正しいだけ”の言葉では、利用者様に納得してもらえないことも。利用者様が本当にやりたいことのために、「必要なこと」を理解し支援に落とし込むことで、行動の改善につなげることができました。

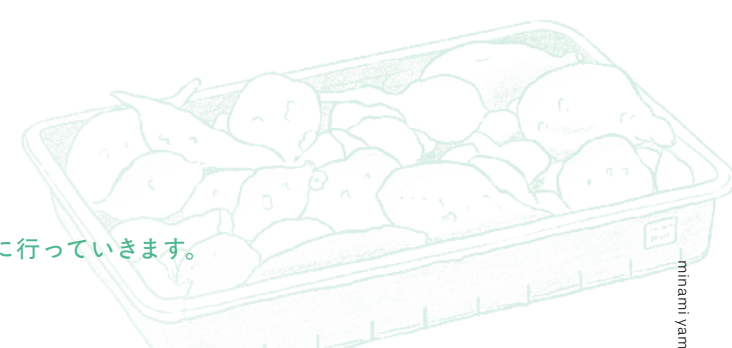


実践レポート集はこちら

Connection with the community

地域とのつながり

ともに暮らし、支えあい、助けあえる地域をつくる。
そのために、地域のみなさまとつながる活動を、積極的に行っています。



minami yamashiro gakuen Recruit 2026



地域交流

さまざまなイベントを企画して、
地域のみなさんと交流します。

醍醐エリアでの「和光祭」と城陽エリアでの「彩雲祭」は、毎年たくさんの地域の方々でにぎわう人気イベント。地域との交流の場としてはもちろん、南山城学園が「福祉避難所」であることを知っていただく機会でもあります。施設を開放して実施するヨガ教室やカフェでのマルシェ企画など、1年を通して地域交流できる場をつくっています。



カフェ運営

カフェを、地域と利用者様を結ぶ場所に。
ランチも大好評です。

「ぶらんたん」「ぶちぼんとkitchen+farm」「さびゆいえ」というカフェを、利用者様と運営しています。カフェには自家農園があり、障害のある方や社会的自立をめざす方の支援の場にも。農園でつくられた野菜は、カフェのランチや地域のレストランへ。ランチタイムは、連日たくさんのお客様でにぎわっています。

VOICE

総合職 | 6年目
K.A.さん

イベントで楽しそうな笑顔が見られたり、思いを伝えられて嬉しそうだったり。ある日ふと、利用者様の生活が豊かになったと感ずることがあります。すぐに結果が出るものではありません。だからこそ、小さくて、大きな感動です。



地域とのつながりはこちら

南山城学園の「人」と「仕事」

先輩職員に聞きました。



藤林 大地 Taichi Fujibayashi

10年目：2015年入職
歴史学部 歴史学科 卒業
職種：副施設長（障害者支援施設 訪）



佐久間 智子 Tomoko Sakuma

3年目：2022年入職
社会学部 社会福祉学科 卒業
職種：生活支援員（障害者支援施設 訪）



上田 康司 Koji Ueda

6年目：2019年入職
社会学部 地域福祉学科 卒業
職種：児童指導員（京都府内の他の社会福祉法人へ出向）



進行
田中 楓 Kaede Tanaka

11年目：2014年入職
社会学部 社会福祉学科 卒業
職種：法人本部職員（企画広報課）

—— 3年目、6年目、10年目と、それぞれ異なるキャリアから、学園のこと、職場のこと、支援のことなどを語りあってもらうことで、南山城学園のよりリアルな姿をイメージできる読みものにできたらと思っています。まずは簡単に自己紹介をお願いします。

佐久間：はい、現在私はスーパーローテーションとして働いていて、1年目「円」、2年目「煌」、3年目の現在は「光」という施設で生活支援員をしています。円の時、上田さんが先輩でいろんなことを教わりました。

上田：現在の職場は南山城学園の施設ではなく、京都府内の他の社会福祉法人へ出向しています。入職して配属された輝で藤林さんが先輩で、今でも公私ともにお世話になっています。

藤林：障害者支援施設 訪の副施設長をしています。以前は輝や和で働いていました。いずれも知的障害のある高齢の方の施設を経験してきました。

背中ではなく、言葉で受け継ぐ。
すごく向きあってくれる人が、脈々と。

—— みなさん異動を経験していますね。それぞれの施設に共通して感じる、南山城学園らしい人とは？

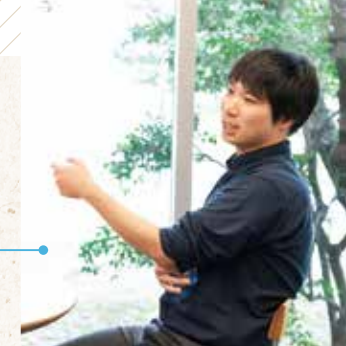
佐久間：1年目のときに先輩から「スーパーローテーションだから1年しかいないことはわかってる。でも、この1年でできることはぜんぶ教える。自信をもって次の施設にいけるように」と言ってもらえたことは、今でも励みになっています。すごく安心できたことを覚えています。見てくれている人がいるんだと。

藤林：そうやって「言葉ではっきり伝えてくれる、気づかせてくれる先輩」がいるって、南山城学園らしいなあと思います。たとえ1年目の若手職員にだって「君はどうしたい？」って聞いてくれる。これって、少しでも施設をよくしようという現れ



利用者さんの未来をつくと同時に、
自分の未来もつくってもらっているような。

言葉ではっきり伝えてくれる先輩がいるって、
南山城学園らしいなあ。



ですよね。「うちの施設はこうだから」ではなく、若手の新しい視点を取りいれようとしてくれる。僕自身、そんな先輩のもとで育ってきたから、僕もそうありたいと思うようになりました。

上田：しっかりと向きあってくれる人が脈々と、ですね。だってそれは、僕も佐久間さんも感じてるから。

藤林：巻き込んでくれるんですね。以前、京都市伏見区エリアの近くに保育園があったんですけど、園児が外で遊んでたら近所から騒がしいって苦情が。なんて時代だ…と思っていたら南山城学園に相談がきて。それなら、近所の空いてる土地を畑にして、そこを子どもたちに解放して遊んでもらおうと思って、当時の施設長に相談したらすぐに「やろやろ」って(笑)話が早いわけです。それから「畑に詳しい職員さんおるで、呼ぼう」「上田くん明日畑耕すからつなぎ持ってきてな」といった具合にどんどん進んでいきました。これって南山城学園の人だからできることなんじゃないかな。

自分でも驚くくらい、
心が動く瞬間がある。
だから、この仕事が
やめられないんだと思う。

—— とことん人に向きあう私たちの仕事。この仕事を続けられている原動力とは？

上田：この仕事ほど人に向きあう仕事はないんじゃないか、とっていて。いろんな人と出会えるというのもそうだし、人が朝起きてから寝るまで、もっとというときと亡くなるまでずっと関わってるんですね。児童分野に携わり、あらためて「その人の未来をつくる仕事」なんだと実感しま

した。児童だけでなく、成人期でも高齢期でも。ほんの少しでも、その人にとって豊かな未来になるために自分に何ができるんだろうって。それを考えることが原動力のような気がします。

佐久間：利用者さんの未来をつくと同時に、自分の未来もつくってもらっているような。というのも、やっぱり利用者さんとの関わりがあるから、続けられていると思うんです。先日はじめて、利用者さんから名前を呼んでもらえたんです。それがもう飛び上がるくらいうれしくて。こういう日々が楽しいから続けられているのかもしれない。

藤林：4年目くらいの時の話なんですけど。長期入院されている利用者さんを3年担当させてもらってたんです。毎週夜勤前に面会に行ってたんですけど、「いよいよ」というときがきて。胃ろうをして生きるか、処置を施さず死を待つか、という選択を迫られ、ご家族は胃ろうを断られたんです。その瞬間、僕は、はじめて怒ってしましましてね。医師も看護師もいる前で、ご家族にすごく怒ってしまつて。それで施設に戻って施設長や副施設長に話をしたら、「きみが怒ってんのはわかる。でも、ご家族の話をちゃんと聞いたか？」つづけて、「きみは3年がんばった。毎週夜勤前に面会にも行ってたのも知ってる。でもな、ご家族は60年いっしょに過ごしてきたんですよ。まずはご家族の話を聞いてみようや」と。若かったんですね。浅はかだった。でも、自分ってこんなに感情が動くんだ、とも思っただす。こんなに怒れるって、本気になってること。そして、やっぱり先輩たちに気づかされました。魅力的な先輩たちと、利用者さんとの関わりの中かで心が動く瞬間に出会える。それがこの仕事を続けられている理由ですね。



この仕事ほど人に向きあう仕事はないんじゃないか、とっていて。

より詳しいトークのロングバージョンを、
新卒採用Webサイトに掲載しています。
ぜひそちらもお読みください！



職種紹介

主な5つの職種をご紹介します。

Job Categories-01 生活支援員・ 介護職員

白木 万尋さん

Q…仕事のやりがいとは？
A…利用者様に何ができるのか。日々
摸索し、できることが増え、笑顔
が見られたときには、この仕事を
やっていてよかったと感じます。

Job Categories-02 相談員

武内 里佳子さん

Q…福祉業界で働くきっかけは？
A…福祉業界であれば、「人の幸せの
ために働きたい」という自分の思
いを実現させることができるので
はないか、と思ったことです。

Job Categories-03 保育教諭

鶴山 玄さん

Q…大切にしていることは？
A…こども園は、子どもにとって楽し
い場所。まずは私たち保育士が、
常に明るく全力で楽しむことが大
切だと考えています。

Job Categories-04 法人本部・ 事務局職員

大前 紗月さん

Q…南山城学園の魅力は？
A…人です！職員同士で利用者様や支
援について話しあい、つらいとき
は励ましあい、同じゴールに向
いしよに向かっています。

Job Categories-05 医療等専門職

里見 千尋さん

Q…将来の目標は？
A…よりよいアセスメントが行える
チームをつくり、高齢から児童ま
でさまざまな分野でリハビリを行
えるようになりたいですね。



〔生活支援員・介護職員〕

抱える問題とともに向きあい、
一人ひとりに必要な支援を。

食事、入浴、排泄のケア、健康管理や財産管理にいたるまで生
活全般のサポートを行います。利用者様の自己選択を尊重し、一
人ひとりによりそうための個別支援計画を作成。ご本人が望む生
活や抱える問題の改善に必要な支援を考え、実践していきます。



〔相談員〕

問題や困難の本質を見つめ、
最適な福祉サービスを提案する。

利用者様とご家族が抱える問題に対して、必要な福祉サービ
スが受けられるよう、各種関係機関と連絡・調整を行います。お
困りごとの本質とご本人とご家族の想いをくみとり、解決に向け
た最適な方法を提案します。



〔保育教諭〕

「子どもが、まんなか。」を理念に、
主体性を育む教育・保育を実践。

保育園、小規模保育園、こども園で、主体性を育む教育・保育
を行っています。子どもの気持ちをまんなかにもった毎日をともに
過ごし、心が動く瞬間を積み重ねていくことを大切にします。保
護者の悩みや不安にも寄り添い、いっしょに乗り越えていきます。



〔法人本部・事務局職員〕

法人の運営サポートを行い、
「支援する人」を支えつづける。

法人全体の経営や各事業の運営をサポートします。経理・会計な
どを行う財務課、人事労務・給与勤怠などを行う総務課、採用・
広報などを行う企画広報課、法人内の環境整備などを行う設備管
理課にわかれ、法人内で「支援する人」を支える役割を担います。



〔医療等専門職〕

専門職同士で連携しながら、
利用者様の体調をきめ細やかにケア。

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、言語
聴覚士、柔道整復師が、専門分野の知見からサポートします。
専門職同士の連携を大切にし、一人ひとりの目標達成に向けた
取り組みを、利用者様の気持ちによりそいながら行います。

キャリアパス

職員一人ひとりが仕事と生活を両立しながら、着実に成長できる職場環境を整えています。

総合職基礎研修

入職から5年にわたり行う人材育成を、総合職の基礎研修としています。福祉の現場に必要な知識と技術を、個人のステージに合わせて身につけていきます。

制度1 育成担当者制度

数年上の先輩が育成担当者になります。

一人ひとりに合わせた個人別育成計画（キャリアアップシート）を策定し、それぞれの成長ステージに応じた行動レベルの向上を支援するための担当者がつきます。職員として、ともに学び成長することを互いの喜び・楽しみとし、自発的な行動を促しながら導く育成を目指します。

制度2 スーパーローテーション制度

制度の導入により、配属の仕方が2パターンになりました。この制度は、1年ごとに他部門（施設）へ異動する制度のこと。4年間で原則にさまざまな現場を経験することで、早期成長をはかります。

	スーパーローテーション	標準ローテーション
対象者	総合職の中から新規採用時に指名する	総合職スーパーローテーション以外の職員全員
異動周期	採用から4年間 1年ごとに異動する	原則として、 同一部門2年以上
配属先	全部門が対象	



NEXT STEP...

シニア [6年目以降]

自立して職務を遂行するとともに、高い専門性と組織性をもってチームに貢献する職員

5年目 [年間4回]

問題解決とセルフイメージ

組織の中で課題となる問題をどのように解決するのか考える。問題や課題の原因・その周りの環境も含め、多面的に考える力を養う。



5年目 ミドル



4年目 ミドル

4年目 [年間4回]

リスクマネジメント

リスクは事故だけではなく、日頃の利用者様と接する中での気づきをどう活かすかがポイント。



チームの中で意見交換することで、新しい視点を発見！



2年目 ジュニア

2年目 [年間6回]

利用者様の対応について

個別支援計画の内容を掘り下げていく。利用者様だけを見るのではなく、利用者様を取り巻く環境もみていくことなど。

施設で働く先輩や後輩が活き活きと働くことができる職場づくりを勉強中です。



私もジュニアのとき、先輩にたくさん相談しました。



私が子どもの頃からいらっしゃる利用者様と、今も笑顔で接することができるのが大きな喜びです。



6年目以降

職員研修、各施設独自の研修など多数実施

人材育成、事例検討、ホスピタリティ、権利擁護、虐待防止など。

エキスパート

高い専門性をもって後輩の指導にあたるアドバイザー役。

マネジメント

施設長、副施設長、主任など。

3年目 [年間4回]

チームワーク

中堅職員として新人教育等も必要になってくる。仲の良い集団としてのチームではなく、組織としてのチーム。職員研修の中で自らの役割は何かなど認識する。



3年目 ミドル

NEXT STEP...

ミドル [3～5年目]

自立して職務を遂行する職員

1年目 [フォローアップ 年間12回]

福祉職員の基礎知識をつける

マナー、権利擁護、社会資源の活用、救急救護、法律、防災、個別支援計画など。



1年目 ジュニア

START!

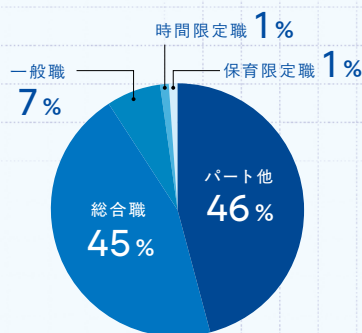
ジュニア [1～2年目]

先輩職員や上司の指示のもと職務を遂行する職員

データでみる南山城学園

南山城学園って、どんな法人？ 職員たちはどんなふうに働いているの？
気になる南山城学園のさまざまな一面を、数字でわかりやすくご紹介します。

Data-01
職員の構成と割合



Data-02
年齢

正職員のみ(平均)

36.1 歳

(2023年度実績)

Data-03
男女比

正職員のみ

男性 女性
4.5 : 5.5

(2023年3月31日時点)

Data-04
勤務年数

正職員のみ(平均)

7.9 年

(2023年度実績)

Data-05
残業時間

正職員のみ(平均)

5.73 時間/月

(2023年度実績)

Data-06
産休・育休

産休・育休取得者数

20 人
うち男性取得3名
(2023年度実績)

復帰率

90 %
11名中10名
(2023年度実績)

Data-07
有給休暇取得率

正職員のみ

83.4 %

日数24日

(2023年度実績)

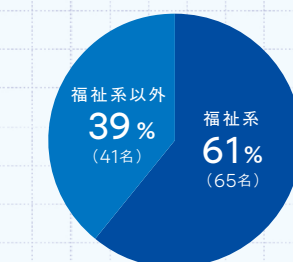
Data-08
時短勤務取得者数

正職員のみ

8 人

(2023年度実績)

Data-09
出身学科の構成



過去5年間の新卒者(計106名)

職員の日

勤務形態は職種によって異なりますが、
基本的には早出・日勤・遅出・夜勤の4パターンのシフト制で1ヶ月ごとの勤務を組んでいます。

日勤の場合



- 8:45 ■ 出勤・始業(朝礼)
朝礼では夜勤者より、注意点や問題点の引き継ぎ。日中活動支援の準備などを行います。
- 9:15 ■ 日中活動支援
一人ひとりの特性や能力に合わせて、各作業場での作業支援や昼食介助を行います。
- 12:30 ■ 休憩・食事
ランチタイム。お弁当の日もあれば、利用者様と同じ食事メニューをとる日もあります。
- 13:30 ■ 外出支援
一人ひとりの状況に合わせて近くのコンビニやショッピングモールなどの買い物支援や希望別の外出に付き添います。
- 16:45 ■ 1日の記録
その日の利用者様の様子や気がついた点などを詳しく記入。
- 17:00 ■ 退勤
仕事終わりは趣味や食事に出かけたりと、プライベートもしっかり充実。

夜勤の場合



- 16:30 ■ 出勤・始業(夕礼)
日勤者から業務を引き継ぎ、夕食介助、見守り、食後の投薬、歯磨き洗面、食堂の片付けなどを行います。
- 20:00 ■ 眠前薬の投薬
マニュアルに沿って眠前薬を投薬。ダブルチェックを徹底します。遅出者から業務を引き継ぎ深夜帯へ。
- 22:00 ■ 巡視・トイレ誘導
(おおむね2時間～3時間おき)
声掛け誘導と排泄介助のほか、ケース記録入力、朝食及び日勤者への引き継ぎ準備、庶務、清掃などを行います。
- 23:00 ■ 休憩・仮眠(90分)
巡視の合間に複数夜勤者と交代で休憩をとります。夜食をとったり、仮眠したり、ゆったりと過ごします。
- 6:00 ■ 起床介助・整容の支援
一人ひとりのペースに合わせて、朝の支度を支援します。
- 8:45 ■ 朝礼
日勤者へ夜間の様子や医務関係などの注意事項を申し送ります。
- 9:00 ■ 退勤
明け勤務は1日フリー。翌日を休みにして、旅行に出かけることも。

給与・待遇について

毎日と、将来に、安心できる給与と待遇

キャリアやライフステージにふさわしい給与の提示と、産休・育休の取得および、安心の職場復帰をサポートします。また、心身ともにリフレッシュすることがサービスの質の向上にもつながるため、計画的な有給休暇の取得を行っています。

■ 給料について（新卒総合職の場合）

基本給	大卒	240,000円～
	専門4年卒	239,500円～
	専門3年卒	239,000円～
	専門2年卒・短大卒	238,500円～
※上記基本給の金額には賞与・通勤手当・夜勤手当など諸手当は含まれていません。		
賞与	年2回 計4.25ヶ月分（2023年度実績）	
昇給	年1回	
諸手当	通勤手当（上限45,000円／月）、夜勤手当（6,000円／回） 住居手当（上限10,000円／月）、扶養手当	
福利厚生	健康保険、厚生年金保険、雇用保険 労災保険、退職金制度	

■ 勤務時間について

1か月単位の変形労働時間制 ※1日の実労働時間／7時間30分、週平均実労働時間／39時間25分		
早出	6:45 ～ 15:00	※内45分休憩
日勤	8:45 ～ 17:00	※内45分休憩
遅出	12:45 ～ 21:00	※内45分休憩
夜勤	16:30 ～ 翌9:00	※内90分休憩

■ 転居費用支援

入職に伴い転居が必要な者に対して、転居費用の一部を負担（新規採用時のみ支給）。
■ 関西圏 5万円 ■ 関西圏以外 10万円

職場づくりについて

きょうと福祉人材育成 認証制度「上位認証」を取得。

人材育成や働きやすい職場づくりへの取り組みが、京都府より高く評価されています。2017年には、厳しい基準をクリアした福祉事業所のみが認定される「上位認証」を取得しました。
上位認証 18法人 認証 250法人（2024年12月）



産休・育休・時短勤務が取得しやすい雰囲気と、職員同士の理解が、法人全体にいき届いています。

産休・育休を経て、その後の復帰率は90パーセント。復帰後も夜勤はありますが、時短勤務（子どもが3歳になるまで）の活用を法人全体で推奨しています。仕事と子育ての両立を、あたりまえのこととして実現できる環境です。

■ 昇給について（新卒総合職の場合）

モデル年収	
case 01	27歳【入職5年目／独身】 月例給 276,000円／年収 434万円 ※賞与、夜勤・住居手当含む
case 02	32歳【入職10年目／既婚、子ども2人】 月例給 316,500円／年収 490万円 ※賞与、夜勤・住居・扶養手当含む
case 03	47歳【入職25年目／管理職】 月例給 370,865円／年収 610万円 ※賞与、夜勤・住居・扶養・時間外手当含む

■ 休日・休暇

- 年間 120日（週休2日、※16日間の計画年休含む）、シフト勤務
- 年次有給休暇（初年度26日、※16日間の計画年休含む）
- 特別有給休暇（慶弔休暇・結婚休暇・配偶者の出産休暇など）
- 産休・育休制度あり（育休後、短時間勤務可）

基本理念

Values
01

利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。

私たちは利用者様の人としての尊厳を重んじ、一人ひとりのかけがえない人生に寄り添い、ともに幸福を追求します。

Values
02

地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。

私たちは、社会福祉法人として培ってきた専門性やノウハウを最大限に活かし、地域社会における福祉ニーズに率先して取り組み、課題解決に努めます。
また、すべての方が住み慣れた地域で互いに寄り添いながら暮らせる福祉社会の実現に貢献します。

Values
03

いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。

一人ひとりの特性に応じた適切なサービスを提供するため、さまざまな事業を展開し、安心して利用できる新たな福祉サービスを創造します。

人を支えるのは 人しかいない

私たちの社会には、障害のある方、高齢の方、子どもたちなど日常生活をおくるためになんらかのサポートを必要とする方が数多くいらっしゃいます。

サポートが必要な場面でそっと手を差し伸べ、その方が持てる力を最大限に発揮して自分らしく幸せな生活を送れるように人に向きあい、よりそうこと。それが私たちの仕事です。

人を支えるのは人しかいません。このことはどんなに社会が発展しようとも、未来永劫変わらない福祉の本質といえるでしょう。私たちはそのための「人づくり」に全力を注いできました。

利用者様の幸福追求という目的に向かい、ともにチャレンジし、感動をわかちあい、実践を積み重ねながら、南山城学園の未来をともに築く仲間を、そして、地域にその輪をひろげ、すべての方々が幸せに生活できる社会をともにつくりあげる仲間を、私たちは求めています。

あなたと同じ志をもって働ける日を楽しみにしています。

7つの誓い

南山城学園職員がめざすべき行動基準です。

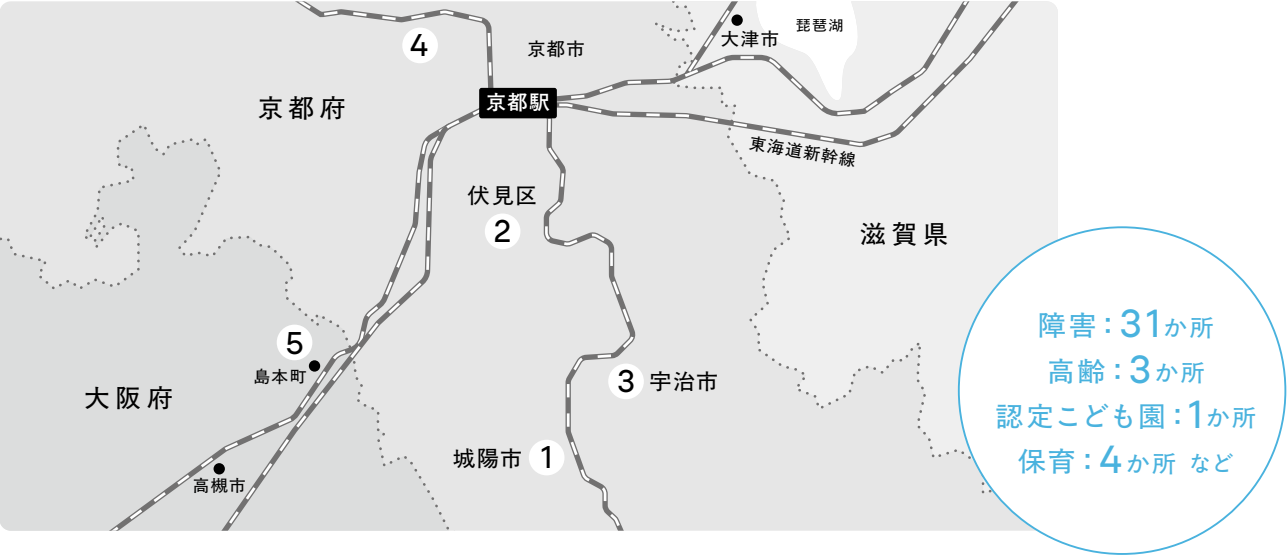
- 1 質の向上に向けた意欲と実践
私は、利用者様の幸福のため、利用者ニーズに即応して、結果を出せるよう自らが行動を起こします。
- 2 ルールと正確性の重視
私は、利用者様、職員など関わるすべての人々の安心・安全のため、ルールを守り正確性を重視します。
- 3 利用者理解と個別サービスの追求
私は、利用者様の尊厳を守り、利用者様の理解に努め、質の高い個別サービスを追求します。
- 4 セルフィイメージの向上と影響力
私は、社会福祉の一端を担う者としての自覚と自信を持ち、人々に前向きな影響をもたらします。
- 5 職員の支援と育成
私は、職員として、ともに学び、成長することを、互いの喜び・楽しみとします。
- 6 チームワークとリーダーシップ
私は、チームの和を大切にしつつ、立場や状況にふさわしいリーダーシップを発揮します。
- 7 専門性の向上と活用
私は、職務に必要な専門的、組織的能力を身につけ、発展させ、活用します。



社会福祉法人南山城学園 理事長
磯 彰格 いそ あきただ

1960年兵庫県生まれ
医学博士、総合内科専門医
全国社会福祉法人経営者協議会 会長
全国社会福祉協議会 副会長

拠点



① 城陽エリア(城陽市)



- A 障害者支援施設 円(まどか)・紡(つむぎ) 和(なごみ)・魁(さきがけ) 南山学園診療所
- B 法人本部 介護老人保健施設 煌(きらめき) (通所リハビリテーション) 居宅介護支援事業所 すまいる
- C 障害者支援施設 翼(つばさ) 知的障害者デイサービスセンター あっぴ 観音堂ホーム
- D グループホーム長池／企業主導型保育 すずの詩
- E 鷺坂ホーム
- F 障害者支援施設 凛(りん) ぶちぼんと kitchen+farm
- G 山城北園域障害者総合相談支援センター ういる 障害児(者)地域療育支援センター ういる 障害者生活支援センター はーもにい 高齢者デイサービスセンター すまいる 身体障害者デイサービスセンター すいんぐ
- H 若年者等就労支援拠点 サザン京都

② 醍醐エリア(京都市伏見区)



- A 障害者支援施設 光(ひかり)・輝(かがやき) 児童日中一時支援事業所 ちえりー 障害者デイサービスセンター わこう 障害児(者)相談支援センター リーふ 京都府地域生活定着支援センター ふいっと 和光診療所 カフェぶらんたん

③ 宇治エリア(宇治市)



- A 障害者支援センターじゃすと 障害者就業・生活支援センターはびねす 就労移行・就労継続支援A型事業所さびゆいえ グループホーム宇治小倉ホーム コミュニティカフェ S'APPUYER (さびゆいえ)

④ 中京区エリア(京都市)



- A もりの詩保育園
- B そらの詩保育園[小規模保育園]

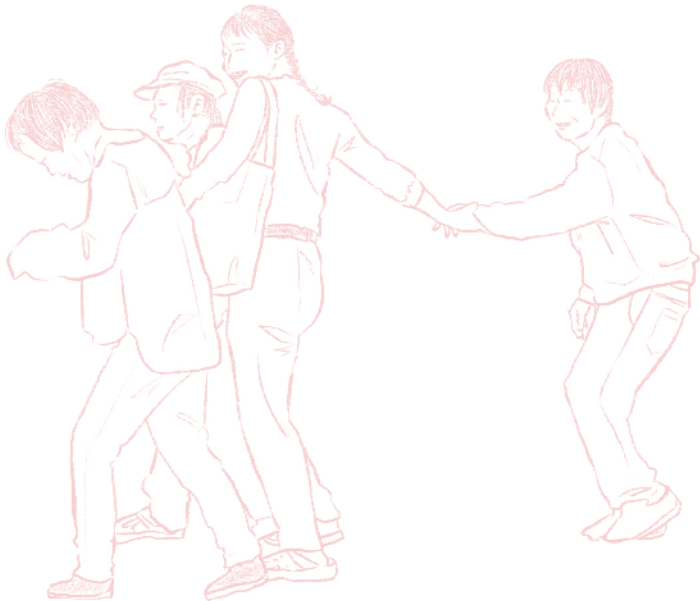
⑤ 島本町エリア(大阪府三島郡)



- A デイセンターふらっぴ ショートステイふらっぴ 障害児(者)相談支援センターういっしゅ
- B りの詩保育園[小規模保育園]
- C 認定こども園 ゆいの詩 こども発達支援 Cocoro 島本



迷って、笑って、励ましあって。
進んだり、戻ったり、立ち止まったり。
それでも人は、人といっしょに歩いていく。
だから、やっぱり、思うんです。
人に向きあうって、おもしろい。





法人概要

事業内容	福祉サービス(障害者・高齢者・乳幼児)など
設立	1965年2月
代表	理事長 磯 彰 格
職員数	約800名
総収入	約45億(2023年度実績)
事業所	京都府城陽市／京都市伏見区・中京区／宇治市／大阪府島本町 障害31か所・高齢3か所・保育5か所など

お問い合わせ

社会福祉法人南山城学園 法人本部事務局
新卒採用担当
〒610-0112 京都府城陽市長池五社ヶ谷14-1

TEL 0774-54-7210
MAIL saiyo-entry@minamiyamashiro.com



詳しくは南山城学園
新卒採用サイトをご覧ください。
r-minamiyamashiro.com